

語り合いました。地域の防災力と女性の参画

第3回男女共同参画委員会研修会より（2月8日実施）

研修Ⅰ「防災対策への女性の参加促進を語ろう パート2」 於：県教育文化会館

県下9市町より17人が参加。小路県婦人会副会長より、『足元を見つめ直し、大いに意見を交わそう』との挨拶の後、長谷川委員長が司会進行した。

①DVD「安心避難所づくり」（青森県男女共同参画センター編集）を皆で視聴。

- ・いつ、どこで起きてもおかしくない**災害**。その時のために、どのような避難所づくりが大切なかがまとめられています。特に女性が安心して過ごせる避難所作りのポイントや、関連死を招かないための配慮について、具体的に触れられています。

②意見交換会

- ・青森の皆さんの体験から生まれたものだからこそ、とても分かりやすく学ぶ事ばかりだ。
- ・地元でも是非このDVDを皆で見て、具体的に考える機会を作りたい。研修会のテーマにし、更衣室や避難所の空間づくりを考えたい。
- ・テレビの報道をみてもどこか外から目線の自分。今日をきっかけにもっと内から目線で避難所作りや防災を考えていきたい。
- ・そのためには、まず女性の私たちが意見を言える場を地域に持つことが大切。一人ではなかなか意見は言いえないが、『婦人会』として発言することは出来る。そこに婦人会の意義と力があると思う。
- ・婦人会員や女性が意見を言えることはもちろん大切だが、男性と一緒に考えることが必要。非常袋や備蓄についても、ノーマルな万人用は男性に持ってもらい、女性特有の物をしっかり確保する女性の力が必要。
- ・防災は、校下単位のような大きな規模でなく、自治会ごとに、自分たちに必要なものは何か？何を必要とする人がいるか？どんなルールが必要か？を日頃から考えておくこと。なんでも話し合えるコミュニティーの力が大切。
- ・今、婦人会の弱体化が進んでいる。しかし、自分たち女性の声を誰が届けるのか？ただ受け身では自分たちの命は守れない（関連死も含めて）
今こそ、婦人会の力が求められている。と訴えて行こう。

<アンケートより>

- ・このDVDを使っでの学習会を、地元でやりたいと思う。
- ・地域を巻き込んだ学習の大切さをしりました。男性を巻き込む、まず家庭から始めます。
- ・地区で防災訓練だけでなく、避難所づくりを自治会単位で行いたいです。
- ・行政やいろんな会から婦人会に委員としての要請がある。積極的に発言し女性の声を届けていきたい。

最後に青山副委員長が、今日の気づきを実践につなげようと締めくくった。

会場を高志の国文学館に移し、文学館の川渕 貴 係長に解説いただいた。

棟方志功の人となりや、作品が生まれる時代背景、民芸との結びつきや富山県福光での生活など、たっぷり時間をかけてお話しいただいた。

版画については勿論の事、沢山の装丁画についても、とても分かりやすく聞くことが出来、この企画展の素晴らしさだけでなく、文学館の皆さんの熱い思いに触れることができた。これからも時間を作って訪れたい場所、と参加者一人一人が実感した会となった。

<アンケートより>

- ・身近な作家と思ってはいたが、偉大な作家と改めて感心しました。
 - ・柳宗悦などに支えられてムナカタが大成した事を聞き、人の絆の大切さを感じた。
 - ・版画のすばらしさが再発見出来た。
 - ・こんなに沢山の装丁画を描いていたことは知らなかった。画家ムナカタを知った気がする。
- また、装画に目を向けコレクションする人が富山にいたことも嬉しい。
- ・学芸員さんの巧みな説明のお蔭で、棟方の作品の素晴らしさをより実感できた。